



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社
 コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 板垣 治

TEL 06-6393-5621

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	40,683	18.3	2,007	93.0	2,757	46.6	1,704	17.6
2022年3月期	34,404		1,040	26.9	1,880	21.8	1,448	92.8

(注) 包括利益 2023年3月期 3,575百万円 (74.6%) 2022年3月期 2,048百万円 (20.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	91.89	90.50	5.0	4.0	4.9
2022年3月期	78.29	77.18	4.5	2.9	3.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	73,074	36,037	49.1	1,931.53
2022年3月期	65,401	33,073	50.3	1,777.15

(参考) 自己資本 2023年3月期 35,849百万円 2022年3月期 32,885百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	2,544	766	95	16,396
2022年3月期	6,323	11	4,534	14,192

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		17.50		17.50	35.00	647	44.7	2.0
2023年3月期		17.50		20.00	37.50	696	40.8	2.0
2024年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		37.1	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	15.5	2,900	44.5	2,900	5.2	2,000	17.4	107.76

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	19,332,057 株	2022年3月期	19,332,057 株
期末自己株式数	2023年3月期	771,945 株	2022年3月期	827,249 株
期中平均株式数	2023年3月期	18,546,298 株	2022年3月期	18,505,022 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	18,020	1.9	40	94.5	4,847	168.2	4,007	128.0
2022年3月期	17,681		736	26.7	1,807	15.9	1,757	2.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	216.06	212.78
2022年3月期	94.98	93.63

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	50,535	28,655	56.3	1,533.78
2022年3月期	49,127	25,272	51.1	1,355.60

(参考) 自己資本 2023年3月期 28,467百万円 2022年3月期 25,085百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済の状況を見れば、新型コロナウイルス感染拡大により停滞していた経済活動が、行動制限の緩和効果もあり緩やかに持ち直しに転じました。一方で、世界的な半導体等の部品不足、原材料価格の高騰、金融資本市場の変調、長期化するウクライナ情勢に伴う地政学的リスクなどによる世界経済への影響も不安視され、先行きは不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社の取引先である国内外の遊園地やテーマパーク、劇場などのエンターテインメント関連業界でも、緩和効果による来場者数の増加に伴って設備投資意欲も顕在化しつつあるなど、回復の動きが出てきています。

当社の事業においても、遊戯機械分野では国内外で受注環境が回復してきており、新設ライドや補修部材の需要が高まっている上、舞台機構分野でもコンサートやイベント開催が本格的に再開され、仮設舞台装置の需要が盛り上がってきています。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は40,683百万円（前期比18.3%増）、営業利益は2,007百万円（前期比93.0%増）、経常利益は2,757百万円（前期比46.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,704百万円（前期比17.6%増）と増収増益となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（売上高は、セグメント間の内部売上を含んでおりません。）

遊戯機械

受注環境が回復している海外を中心に工事が順調に進捗したほか補修部品向けも引き続き伸びたことから、一部不採算工事の影響や販売経費の増加はあったものの、セグメント売上高は18,892百万円（前期比25.4%増）、セグメント損失は157百万円（前年同期はセグメント損失819百万円）となりました。

舞台設備

コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要が大きく回復したことから、常設の改修工事における前期大型案件の反動や新設工事での諸コスト増加の影響などがあったものの、セグメント売上高は14,976百万円（同13.0%増）、セグメント利益は2,446百万円（同16.8%増）となりました。

昇降機

公共施設や集合住宅用の改修工事が着実に進捗したことに加え、保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移したことにより、セグメント売上高は6,713百万円（同11.5%増）、セグメント利益は1,291百万円（同7.2%増）となりました。

その他

売上高は100百万円、セグメント利益13百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ7,672百万円増加し、73,074百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が2,323百万円、現金及び預金が2,204百万円、仕掛品が841百万円それぞれ増加したことなどによります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ4,708百万円増加し、37,036百万円となりました。これは主に、契約負債が2,266百万円、短期借入金が2,094百万円増加したことなどによります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,964百万円増加し、36,037百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,055百万円増加したのに加え、円安進行により為替換算調整勘定が1,785百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,204百万円増加し16,396百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べて3,778百万円減少し2,544百万円の収入となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益2,757百万円、契約負債の増加1,794百万円、仕入債務の増加1,218百万円、減価償却費1,099百万円などであり、支出の主な内訳は、売上債権及び契約資産の増加1,148百万円、法人税等の支払額2,101百万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて754百万円増加し766百万円の支出となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出734百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて4,438百万円減少し95百万円の支出となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出1,387百万円、配当金の支払いによる支出648百万円などであり、収入の主な内訳は、短期借入金の借入れによる収入1,900百万円などです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	43.9	46.0	47.5	50.3	49.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.9	16.7	21.9	20.8	20.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	691.8	408.5	—	270.9	712.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	14.6	17.8	—	28.1	11.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

ウイズコロナの環境下、新型コロナウイルス感染の沈静化と緩和措置実施に伴い、経済活動は年間を通して回復傾向を辿っていくものと見られます。一方で、資源・原材料価格の上昇や国際情勢の不安定化などにより、世界経済の先行きは引き続き予断を許さない状況となっています。

当社は、国内外で回復してきた需要を確実に取り込むことによる各事業の一段の成長に加えて、新たな事業分野の構築にも積極的に取り組むことで、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

2024年3月期の連結業績予想については、国内外における遊戯機械分野での受注拡大や舞台設備分野での仮設舞台装置向け需要の取込みを見込んで、売上高は47,000百万円（前期比15.5%増）、営業利益は2,900百万円（同44.5%増）、経常利益は2,900百万円（同5.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,000百万円（同17.4%増）と予想しています。

配当については、安定的な利益還元を基本方針とし、収益水準、受注状況、財務状況などを総合的に勘案し決定しています。次期については、年間配当金は1株当たり40円とし、中間配当金は20円を予定しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,225,298	16,429,604
受取手形、売掛金及び契約資産	18,756,079	21,079,221
電子記録債権	276,606	98,109
仕掛品	498,927	1,340,285
原材料及び貯蔵品	2,477,804	2,689,108
その他	2,076,551	4,033,019
貸倒引当金	△876,265	△687,238
流動資産合計	37,435,002	44,982,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,793,600	8,140,694
減価償却累計額	△2,849,616	△3,156,075
建物及び構築物（純額）	4,943,983	4,984,619
機械装置及び運搬具	4,382,163	4,906,459
減価償却累計額	△3,679,128	△3,995,764
機械装置及び運搬具（純額）	703,035	910,694
土地	4,239,690	4,271,651
建設仮勘定	129,597	250,372
その他	1,721,391	2,013,945
減価償却累計額	△1,349,832	△1,589,190
その他（純額）	371,559	424,754
有形固定資産合計	10,387,865	10,842,093
無形固定資産		
のれん	8,156,084	7,936,417
その他	1,561,230	1,441,502
無形固定資産合計	9,717,314	9,377,919
投資その他の資産		
投資有価証券	5,824,405	5,802,723
長期貸付金	19,325	19,896
繰延税金資産	1,036,901	1,143,063
その他	981,395	907,150
貸倒引当金	△462	△462
投資その他の資産合計	7,861,565	7,872,370
固定資産合計	27,966,745	28,092,383
資産合計	65,401,748	73,074,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,173,831	3,478,728
短期借入金	3,965,110	6,059,810
1年内返済予定の長期借入金	1,365,520	1,165,887
未払法人税等	400,806	560,497
未払消費税等	306,004	237,718
契約負債	6,298,307	8,564,561
賞与引当金	516,852	588,120
役員賞与引当金	32,712	33,816
工事損失引当金	141,304	294,509
その他	2,165,716	2,397,165
流動負債合計	17,366,166	23,380,814
固定負債		
長期借入金	11,790,693	10,846,493
繰延税金負債	847,195	761,358
退職給付に係る負債	2,277,312	1,956,893
その他	47,322	91,214
固定負債合計	14,962,524	13,655,959
負債合計	32,328,690	37,036,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,442,954	2,451,864
利益剰余金	25,039,798	26,095,410
自己株式	△416,780	△389,031
株主資本合計	30,317,252	31,409,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,866,272	1,853,269
繰延ヘッジ損益	76	△174
為替換算調整勘定	697,940	2,482,987
退職給付に係る調整累計額	4,305	103,893
その他の包括利益累計額合計	2,568,594	4,439,976
新株予約権	187,210	188,221
純資産合計	33,073,057	36,037,720
負債純資産合計	65,401,748	73,074,494

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	34,404,350	40,683,716
売上原価	24,439,880	29,167,794
売上総利益	9,964,469	11,515,921
販売費及び一般管理費	8,924,175	9,508,628
営業利益	1,040,293	2,007,293
営業外収益		
受取利息	3,611	4,043
受取配当金	142,232	168,630
保険配当金	340,502	56,730
受取賃貸料	37,034	37,675
助成金収入	452,656	754,572
その他	95,604	24,014
営業外収益合計	1,071,642	1,045,667
営業外費用		
支払利息	223,161	249,423
支払手数料	5,399	3,891
為替差損	1,312	38,660
その他	1,553	3,292
営業外費用合計	231,426	295,268
経常利益	1,880,508	2,757,692
特別利益		
固定資産売却益	309,483	-
投資有価証券売却益	351,101	-
特別利益合計	660,585	-
税金等調整前当期純利益	2,541,093	2,757,692
法人税、住民税及び事業税	1,119,109	1,099,721
法人税等調整額	△26,755	△46,279
法人税等合計	1,092,353	1,053,442
当期純利益	1,448,739	1,704,249
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,448,739	1,704,249

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,448,739	1,704,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212,049	△13,002
繰延ヘッジ損益	△3,341	△251
為替換算調整勘定	786,617	1,785,047
退職給付に係る調整額	28,223	99,588
その他の包括利益合計	599,451	1,871,381
包括利益	2,048,191	3,575,631
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,048,191	3,575,631
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,251,279	2,442,954	24,284,998	△416,548	29,562,683
当期変動額					
剰余金の配当			△693,939		△693,939
親会社株主に帰属する当期純利益			1,448,739		1,448,739
自己株式の取得				△231	△231
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	754,800	△231	754,568
当期末残高	3,251,279	2,442,954	25,039,798	△416,780	30,317,252

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,078,321	3,418	△88,677	△23,918	1,969,143	147,408	-	31,679,235
当期変動額								
剰余金の配当								△693,939
親会社株主に帰属する当期純利益								1,448,739
自己株式の取得								△231
自己株式の処分								-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△212,049	△3,341	786,617	28,223	599,451	39,801	-	639,252
当期変動額合計	△212,049	△3,341	786,617	28,223	599,451	39,801	-	1,393,821
当期末残高	1,866,272	76	697,940	4,305	2,568,594	187,210	-	33,073,057

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,251,279	2,442,954	25,039,798	△416,780	30,317,252
当期変動額					
剰余金の配当			△648,638		△648,638
親会社株主に帰属する当期純利益			1,704,249		1,704,249
自己株式の取得				△323	△323
自己株式の処分		8,909		28,072	36,982
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	8,909	1,055,611	27,749	1,092,269
当期末残高	3,251,279	2,451,864	26,095,410	△389,031	31,409,522

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,866,272	76	697,940	4,305	2,568,594	187,210	-	33,073,057
当期変動額								
剰余金の配当								△648,638
親会社株主に帰属する当期純利益								1,704,249
自己株式の取得								△323
自己株式の処分								36,982
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△13,002	△251	1,785,047	99,588	1,871,381	1,011	-	1,872,392
当期変動額合計	△13,002	△251	1,785,047	99,588	1,871,381	1,011	-	2,964,662
当期末残高	1,853,269	△174	2,482,987	103,893	4,439,976	188,221	-	36,037,720

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,541,093	2,757,692
減価償却費	1,016,210	1,099,245
のれん償却額	749,391	802,363
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,228	71,268
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△126,028	145,635
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△54,320	△176,919
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△960	1,104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	787,036	△264,768
受取利息及び受取配当金	△145,843	△172,674
支払利息	223,161	249,423
投資有価証券売却損益 (△は益)	△351,101	△390
投資有価証券評価損益 (△は益)	934	-
固定資産売却損益 (△は益)	△309,483	△1,907
固定資産廃棄損	0	0
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	2,891,044	△1,148,690
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,745	△945,110
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,242	1,218,354
契約負債の増減額 (△は減少)	611,669	1,794,054
未払消費税等の増減額 (△は減少)	178,495	△68,286
未収消費税等の増減額 (△は増加)	69,789	△462,118
その他の資産の増減額 (△は増加)	△778,517	△270,239
その他の負債の増減額 (△は減少)	565,509	△46,429
その他	△180,532	113,450
小計	7,660,788	4,695,058
利息及び配当金の受取額	145,843	172,674
利息の支払額	△225,031	△221,643
法人税等の支払額	△1,257,999	△2,101,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,323,601	2,544,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△33,207
定期預金の払戻による収入	20,000	33,207
投資有価証券の取得による支出	△261,954	-
投資有価証券の売却及び償還による収入	395,711	875
有形固定資産の取得による支出	△345,126	△734,848
有形固定資産の売却による収入	419,956	8,776
無形固定資産の取得による支出	△207,970	△81,122
貸付けによる支出	△1,460	△9,520
貸付金の回収による収入	9,259	16,250
その他	△20,346	33,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,932	△766,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,432,261	1,900,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,369,770	△1,387,645
リース債務の返済による支出	△38,444	△59,053
ストックオプションの行使による収入	-	55
自己株式の取得による支出	△231	△323
配当金の支払額	△693,353	△648,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,534,061	△95,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	299,988	521,428
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,077,596	2,204,306
現金及び現金同等物の期首残高	12,114,494	14,192,091
現金及び現金同等物の期末残高	14,192,091	16,396,397

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの事業は、遊戯機械・舞台設備・昇降機の3事業部門において、設計から保守改修に至るまで一貫した運営・管理体制としており、財務情報に基づく報告セグメントもそれら事業本部ごとに区分しています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、遊戯機械・舞台設備・昇降機の3事業部門において、多様な製品の設計・製造・施工・保守・改修工事等を行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	15,069,170	13,253,645	6,022,686	34,345,502	58,847	34,404,350	—	34,404,350
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	5,457	—	—	5,457	720	6,177	△6,177	—
計	15,074,627	13,253,645	6,022,686	34,350,959	59,567	34,410,527	△6,177	34,404,350
セグメント利益 又は損失(△)	△819,712	2,093,612	1,204,817	2,478,718	△20,645	2,458,072	△1,417,779	1,040,293
セグメント資産	33,114,592	11,668,573	3,479,589	48,262,755	603,960	48,866,715	16,535,032	65,401,748
その他の項目								
減価償却費	587,623	298,603	60,367	946,594	2,421	949,015	67,195	1,016,210
のれんの 償却額	633,098	116,293	—	749,391	—	749,391	—	749,391
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	117,966	165,509	150,439	433,915	—	433,915	121,528	555,443

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 全社資産の主なものは、提出会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産などであります。

(3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	18,892,973	14,976,242	6,713,892	40,583,108	100,608	40,683,716	—	40,683,716
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,331	—	—	2,331	720	3,051	△3,051	—
計	18,895,304	14,976,242	6,713,892	40,585,439	101,328	40,686,768	△3,051	40,683,716
セグメント利益 又は損失(△)	△157,567	2,446,291	1,291,316	3,580,040	13,104	3,593,144	△1,585,851	2,007,293
セグメント資産	39,215,264	13,124,838	4,606,409	56,946,513	592,942	57,539,456	15,535,038	73,074,494
その他の項目								
減価償却費	621,622	319,138	91,370	1,032,131	2,511	1,034,642	64,603	1,099,245
のれんの 償却額	686,070	116,293	—	802,363	—	802,363	—	802,363
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	335,606	414,329	60,950	810,885	1,396	812,281	137,194	949,476

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 全社資産の主なものは、提出会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産などあります。

(3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,777円15銭	1,931円53銭
1株当たり当期純利益	78円29銭	91円89銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	77円18銭	90円50銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,448,739	1,704,249
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,448,739	1,704,249
普通株式の期中平均株式数(株)	18,505,022	18,546,298
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	266,522	285,966
(うち新株予約権(株))	(266,522)	(285,966)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。